

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	れもんキッズ藍住		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 18日	～	令和6年 12月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 18日	～	令和6年 12月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特性に応じた専門性のある支援や、それに合わせた活動内容やプログラムについて検討し、提供できている。	毎日職員ミーティングを実施し、利用児の状態や活動内容について検討している。支援の質・専門性を高めるため、毎月第3土曜日の午後に職員研修の時間を作り、療育アドバイザー（大学教授）に協力いただきながら、ケース検討等を行っている。	職員の専門性（障がい特性・学齢期であること等）をより向上させることができるような研修内容や、外部講師・外部評価の導入等を検討していく。
2	保護者への説明や、関係機関との連携について丁寧に、適宜できている。	業務の中で報告・連絡・相談を意識し、情報を職員間で共有している。細かなことでも電話等で報告するようにしている。保護者からの要望に対して、柔軟に対応するよう意識して取り組んでいる。必要に応じて、関係機関とも積極的に情報共有を図っている。	今後も必要な情報を適宜共有し、保護者や関係機関と一緒に利用児支援に当たるよう取り組んでいく。
3	利用児が通所を楽しみにしている。保護者の支援に対する満足度が高い。	利用児が安心して、楽しく過ごせるよう活動内容を工夫している。支援者と会うのを楽しみにしてもらえよう努めている。保護者の要望にできる限り柔軟に対応できるよう検討している。	現在利用を継続している利用児・保護者の意見であることも考慮し、引き続き満足していただける支援・対応を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会やきょうだいへの支援、参観機会の少なさ	保護者が集まりやすい日の設定が難しい。参観希望があれば、随時受け付けているが、保護者から希望が出にくいのかもかもしれない。	参観機会については、保護者面談と合わせて「参観できる期間」を設定し、アンケートを取る形で検討する。保護者会については、保護者向けの研修を企画し、前後で保護者同士が交流を図れるような形を検討する。
2	情報発信について	ホームページはあるが、情報の更新に限られたものになっている。SNSや会報のような情報発信はできていない。	ホームページのリニューアルを検討する。合わせて、内容を適宜更新したり、情報を発信していくための仕組みを簡素にし、取り組み易い方法も検討していく。
3	環境について	特に長期休み期間などに、スペースが足りないと感じることがある。清潔感や心地よく過ごせる環境になっていないと保護者に感じられている。	事業所全体で部屋の使い方や活動内容等について検討する。心地よく過ごせる環境作りのため、日頃から全体で整理整頓清掃を意識していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		れもんキッズ監住		公表日		令和7年 3月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	2 △(1)	デイでは長期休みの時など使える部屋が限られてやりにくいと思うときがある。夏休みのスペースのとり方の改善が必要に感じる。学習室やミミ先生の部屋など長期休み、下校時間がなやみ日など使える場所が限られている。	事業所全体で、部屋の使い方について検討していく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	2 △(1)	センターからのヘルプなどしなくていいよう常にデイでまわせるようにしてほしい。夏休み、体を動かしたい児童と静かに過ごしたい児童の部屋と人員確保が必要に感じる。個別で支援が必要な児童が多い日はもう少し人員が必要と感じる場面がある。	時間帯や期間(長期休み等)、利用児の特性等により、職員が不足していると感じることがある。事業所全体で調整しているが、今後も検討が必要。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	0 △(1)				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	毎日のミーティングではとれもいい時間が作られている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0				
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0 無(1)				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0				

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		職員の人数がもう少し多いと個人の状況に応じた支援がもっとできると思う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		終了時にはできないが次の日必ず振り返りができている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	△(1)		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	1		活動内容は職員が決めているが遊びの中では自己決定の時間がある。スペースがない。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	1 無(1)		小2までの受け入れなので、物理的にできない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		機会がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	△(1)		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0			